

東西条地域センターだより



第80号

令和8年6月25日発行

東西条地域センター 〒739-0007 東広島市西条土与丸 2-3-4 TEL・FAX 082-421-2023

夏至の日の 手足明るく 目覚めけり

岡本 眸(現代俳句の俳人、文化勲章受章者)

夏至、二十四節気の一つで、太陽の黄経が90度に達したとき。

新暦6月21日ごろにあたり、北半球では一年中で昼間が最も長い。(俳句歳時記、角川学芸出版より)

6月4日頃に梅雨入りしましたね。 今年は空梅雨かしら? しとしと長雨が続くのかしら? 少しは降ってもらいたいけれど、被害が出ない程度の梅雨を期待したいですね。 7月初めは半夏生(はんげしょう)、その名前の花・ハンゲショウも庭先に咲き始めました。花と言えば、梅雨どきはやはり“あじさい”です。広島空港隣にある日本庭園「三景園」では6月5日から6月28日まで、紫陽花が楽しめる花まつりが開催されています。行けない方には、当地域センター玄関にも頂き物の紫陽花がいっせいに咲いていますので、ぜひ見に来て下さい。

(カシワバアジサイ) (ガクアジサイ) (半夏生はんげしょう) (サイショウコウホネ) <島根県隠岐の島の海>



5月の末に私は「島根県隠岐の島」を友人からの誘いで12名と山登りをしてきました。生涯学習社会教育にも関連、「島留学生徒が多い」と聞いていたので情報収集しました。

また美しい景色で一句詠んでみました。 「^{おき}隠岐の^{こん}紺 ^{しろうとはな}白獨活花と 遊覧船」

「きれいなまちづくりキャンペーン」・ご参加有難うございました!

東広島市は6月第2日曜日を「環境美化の日」の日と定め全市一斉清掃を推進し、6月14日(日)東広島市公衆衛生推進協議会の主催で行われました。東西条小学校会場では、8時30分から開会・説明会があり、土谷支部長をはじめ、50名弱の皆さんが小学校周辺のゴミ拾いを頑張りました。地域によっては、この日を通学路の清掃日として草刈り等を行なう地区もあったようです。(公衛協・吉士実支部、自治協環境美化部会)



《センターだより80号を記念して、建物の歴史》

振り返ってみれば、平成7年に東西条交流センター(東西条公民館)が新築されました。

平成23年東西条地域センターに名称変更、東西条地区住民自治協議会準備室設立

平成24年駐車場のアスファルト化工事、花壇新設があり

(カシワバアジサイ)



平成25年住民自治協議会設立(総務、防犯防災、地域活性化、健康生涯学習、福祉、環境美化部会)

平成28年中央生涯学習センター解体に伴いオブジェ(手形銘板)移設され、現在の姿です。

主催講座紹介

= メンスキッチン参加者募集 =

今年度はあと、8/21と10/16（第3金曜日）の2回です
コミュニケーションを取り
ながらメニューを完成させ
楽しく食事をとります。

一緒に調理をする仲間
を募集しています
ご連絡をお待ちしています

6/19のメニュー

- ①きのこと御飯と味噌汁
- ②ひじきときゅうりのレモン酢
- ③鮭のホイル包み焼き
- ④果物のカッテージチーズソース



体験しようニュースポーツ 参加者募集

毎月1回（第1木曜日）室内ニュースポーツ教室を行っています
さまざまなニュースポーツを体験し運動不足・ストレス解消・
コミュニケーションの促進など、様々なメリットがあるスポーツを楽しみましょう。
4月はペタンク、5月はモルックを行いました。 さて今後はなんでしょうか



《地域課題、社会課題を皆さんはどう考えますか？》

- ① 人口減少、増えているのは東京都・沖縄県（先島諸島自衛隊の設置に因るのかも？）
2025年の出生数、10年連続の過去最少更新。67万1,236人、この子たちが成人した社会は？
- ② 私は沖縄が大好きで、八重山地域西表島に友達がいます、今年も3月6月の2回行きました。
沖縄県名護市辺野古沖で小型船が転覆し京都の同志社国際高の生徒と船長が死亡した事故で文科省から指導がありました。「平和学習の萎縮を招きかねない？」とも言われています。
また尖閣諸島への常態化した領海侵犯や沖縄近海での軍事的な圧力もこれ以上進まないように！
- ③ 不登校の生徒が増大し支援する学校は「生徒の声をしっかり聴くことが原点とは言われても？」
地域センターにも児童がたくさん来てくれます。主体性や自主性の尊重が結果として放任にならないかと心配される。個性の尊重や権利意識が高まる中で、生きる力を伸ばすための学校教育の役割はますます複雑で、難しくなると痛感します。
- ④ 「死にたい」は「辛さ」から助けて欲しい合図と言われます。中高生の自殺は依然として増加傾向にあります。子供が突然「死にたい」と口にしたとき、親は強い衝撃を受け、戸惑い、焦り、「何があったの」「なぜそんなことを言うの」と叱ったり、質問攻めになりがちです。まずは否定せず子供の辛さをそのまま受け止める姿勢が欠かせません。受け止め寄り添い、子供を守る力が必要です。
- ⑤ 小中学生のスマホ利用規制は必要ですか？ スマホの普及が未成年の子供たちに広がり、長時間に及ぶ動画視聴やSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）への依存などが問題になってきています。心理面、健康面、社会面のいずれにも深刻な悪影響を及ぼし、子供たちの成長を阻害する危険性が指摘されているからです。諸外国ではどうでしょうか？
- ⑥ 最後に、地域センター職員としての心構えは？
今日、地域社会において人口減少、少子高齢化、地域のつながりの希薄化をはじめ、様々な課題が複雑に重なり合っております。住民一人一人の学びを支えるとともに、その学びを人と人とのつながりへ、さらに地域の実践へと結びつけていくことが求められています。（センター長折羽邦彦）